

仙台市議会議員として仕事をさせていただき8年目を迎えることが出来ました。この間、市民の皆さんにとって一番身近な基礎自治体の議員として、暮らしにかかわる様々な課題に取り組んでまいりましたが、特に二期目のこの3年間は、新型コロナウイルス感染症との闘いの日々だったように思います。感染拡大の防止と社会経済活動の両立、そこに加えて記録的な物価上昇など、市民の皆さんの生活や地元中小企業の経営にかかる課題に真摯に向き合い、一刻も早く皆さんの「当たり前の日常」を取り戻すために引き続き仕事をしていきたいと思っております。ご意見等ございましたらお寄せください。



▲ R5年第1回定例会予算委員会副委員長として

令和4年 第4回定例会 一般質問

1. 重症心身障がい児者への支援について

重度の身体障がいと重度の知的障がい重複している重症心身障がい児者の方々は年々増加傾向にあり、令和元年度に行った調査によると、本市には634人の重症児者がいらっしゃるということです。そのうちおよそ8割弱は在宅で療養をされていますが、医療的ケアが必要な重症児者の増加や、介護者である保護者の高齢化が進んでいることなどにより、在宅療養が継続できなくなった場合の医療型の長期入所病床が不足し、待機者が発生しているという課題が出てきています。また在宅療養を支援するための医療型短期入所病床も同様に不足していて、増えるニーズに対応できていません。ソフト面だけではなくハード面の整備にも取り組む必要があります。

**Q** 沼沢  
 現行の仙台市障害者保健福祉計画は来年度が最終年度。次期計画策定の議論では、在宅療養を支援する医療型短期入所病床や在宅療養が困難となった方のための医療型長期入所病床など、これら施設的な整備もしっかりと位置付けて、重症心身障がい児者の方々の支援に取り組むべき。

**A** 市長  
 医療的ケアが必要な重症心身障がい児者に関しては、ご家族も含めよりきめ細やかな支援が必要だと認識している。現在次期計画が施設の在り方なども含め、ニーズなども十分踏まえたものとなるよう、施策の充実に取り組んでまいります。

2. 不妊治療助成制度について

令和4年度より人工授精等の「一般不妊治療」、体外受精等の「特定不妊治療」について保険適用され、不妊治療が原則3割負担で受けることが出来るようになりました。これにより多くの方々の費用軽減が期待できるのは間違いありませんが、しかし一回平均50万円かかる不妊治療の3割負担はそもそも高額でもあります。そのため様々な自治体でこの自己負担分に対する助成や、保険適用外である先進医療に対する助成制度などが創設され始めていますが、仙台市では保険適用開始に合わせこれまで行ってきた独自助成制度は廃止されてしまったままです。新たな助成制度を創設し、子どもを産み育てたいと願う方々を応援すべきです。

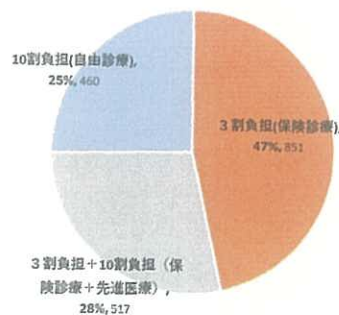
**Q** 沼沢  
 私が当選して初めての本会議で提案した不妊治療の本市独自助成制度は、平成30年度に制度として実現してもらった。これまでの評価について伺う。

**A** 市長  
 本市独自の不妊治療助成の上乗せを行ってきた。これにより希望する方々の負担軽減につながったほか、治療を受けるきっかけにもなったものと考えている。

**Q** 沼沢  
 この独自助成は保険開始に伴って終了してしまったが、しかし不妊治療には保険適用後も多くの費用が掛かるのが現実。保険適用自己負担分や先進医療に対する新たな本市独自の助成制度を創設すべき。

**A** 市長  
 保険適用後も独自支援を行う自治体があることは認識している。保険適用間もない現段階においては、まずは独自支援を行う指定都市の状況等を確認しながら、本市としてどのような支援が可能なのか考えてまいります。

Q4.あなた自身がいま受けている治療の、自己負担の割合について教えてください。(回答数:1,828)



▲ NPO 法人Fine「保険適用後の不妊治療に関するアンケート 2022」より



### 3. 私道共同排水設備の維持管理について

私道共同排水設備とは、私道に面した複数の設置者の宅地からの下水を公共下水道に排除する排水設備です。その管理責任は設置者である住民となっていますが、設備の老朽化や所有者の高齢化などにより様々な課題が出てきています。本市にはその共同排水設備を市が引き取り維持管理していく制度がありますが、その要件としてまずは市が調査をし、必要な修繕を設置者である住民が行わなくてはなりません。そのため高額なケースでは、その費用負担が課題となっています。



私道共同排水設備をめぐる課題は、時間が経てばたつほどに複雑化する。課題を解決したいと願う住民の負担軽減を図るためにも、私道共同排水設備の修繕に対する助成制度を創設すべき。



共同排水設備の多くは近年老朽化が進んでおり、引き取りに必要となる修繕費の負担も課題の一つと認識している。これらへの対応は他都市においても様々であり、本市としても修繕費の助成も含め幅広くに検討していく。

## 令和4年 第3回定例会 市民フォーラム仙台 代表質疑

### 1. 四病院統合再編問題について

現在宮城県は名取の県立がんセンターと仙台赤十字病院、東北労災病院と県立精神医療センターという2つの枠組みで拠点病院に再編し、それぞれ名取市と富谷市に新設する方針を打ち出しています。この日赤病院と労災病院を仙台市外に持っていくという構想は、周産期医療や救急搬送体制等の視点から見ても、断固として容認することはできません。これまでこのような仙台市の考え方は県に幾度も伝えていますが、しかしほぼゼロ回答が続いています。



県がこのままゼロ回答を続けるのであれば、本市としてもあらゆる手段を考えなければならない。日赤病院と労災病院が現在抱えている課題を確認し、2病院が仙台に残り、適切な医療体制を維持できるよう、本市として税制も含め最大限の手を打つべき。



先日両病院の院長より課題について確認させてもらった。特定の病院に特別な取り扱いをするのは公平性という観点で難しいが、県に対し特に重要な諸課題を提示し、必要な対応を引き続きとってまいりたい。

#### その他質疑項目

- ◎オミクロン株対応型ワクチンの追加接種について
- ◎観光産業の継続的な支援について
- ◎製品プラスチック一括回収とリサイクル事業について
- ◎持続可能な公共交通と敬老乗車証の継続的展望について
- ◎ベガルタ仙台の経営再建とユアスタ大規模改修について

## 令和4年 第3回定例会 決算等審査特別委員会

### 1. 消防費 コンテナ型防災備蓄倉庫の設置拡大について

避難所における防災備蓄の本市における考え方は、原則避難所となっている学校の校舎内や体育館などの余裕部分を使うこととされており、それが難しい場合に限り、屋外コンテナ型の防災備蓄倉庫を整備することになっています。しかしコロナ禍における感染予防グッズなど備蓄品目はこれまで増え続け、学校内でも分散備蓄となっているのが現状です。



▲屋外コンテナ型防災備蓄倉庫の拡大を



35人以下学級の拡大に伴い、学校では余裕教室が減少している。学校現場や避難所運営委員会の方々の声を確認し、必要などころから屋外コンテナ型防災備蓄倉庫の設置を拡大していくべき。



大雨災害や備蓄物資の品質面も考えて、これまで校舎内備蓄をお願いしてきた。コロナ禍など新たなニーズに対応しながら、地域の皆様の使い勝手も含め、現場の声を聴き、防災備蓄環境の充実に努めてまいりたい。



## 2. 総務費 オープンデータの利活用について

自治体が保有する様々なデータは税金を原資として得られた公共財です。それらのデータを公開し、民間や大学などに利活用してもらうオープンデータの取り組みは本市においても進められていますが、公開されているデータセットの数や種類、またその見せ方など、まだまだ工夫の余地があります。

**Q** 沼沢  
DXの根幹はデジタル化にあるのではなく、それにより得られたデータを利活用することにある。本市のオープンデータカタログサイトの刷新やデータの利活用人材を育成するなど、更なる取り組みを求める。

**A** まちづくり政策局長  
行政データを民間等に使いやすい形で提供し、イノベーションや社会課題解決等につなげていくことが今後の都市経営には必要だと認識する。分野横断的なデータの利活用に力を入れ、必要な人材育成にも取り組んでまいりたい。

その他質疑項目 ◎歩こう動こう脱メタボプロジェクトについて 等

### 令和4年 第2回定例会 一般質問

#### 1. 広瀬川自然河岸における防災対策について

広瀬川の流れが作り出した自然崖の景観は杜の都仙台を象徴するものですが、河川の侵食や風化、災害などで崩落が相次いでいます。昨年3月16日に発生した福島県沖を震源とする地震の際にも、向山地区においてモルタル擁壁の一部が崩落しました。この自然崖はどうやら国有地との事ですが、崖の上は民有地、崖の下は河川区域と所有者、管理責任者が複雑に入り組んでいて、この間対策らしい対策が取られておらず、崖の上に住む人にとっては極めて危険な状況になっています。



▲ 令和4年3月の地震により崩落した向山地区のモルタル擁壁

**Q** 沼沢  
東日本大震災の影響によりおよそ10年以上開催されていない県と市による「広瀬川自然河岸に関する連絡調整会議」をもう一度再開し、自然崖の崩壊に対する対応方針の策定など、将来的な対応策についての検討を進めるべき。

**A** 市長  
向山地区のケースは、複雑な権利関係や景観への配慮などの点も踏まえた検討も必要。これらの課題に対応するために、連絡調整会議で県と連携をし、今後の対応について議論を深め、安全・安心につながるよう取り組んでまいりたい。

**一歩前進!!**

この質問の後、県と市による担当者会議を開き、広瀬川自然河岸に関する連絡調整会議の再開に向け議論が始まっています。将来的な安全対策の実現に向け、引き続き私も取り組んでいきます。

#### 2. 資材価格高騰に対する農業者支援について

原油高や円安などにより、物価上昇が止まりません。それは農業関連資材も同様で、特に化成肥料は高いもので300%も値上がりしています。しかし食材などの小売価格は確かに上昇していますが、野菜などの卸売価格も上昇しているかと言えば、必ずしもそうとは言えません。そもそも市場取引は需要と供給で価格が決まるので、農家の皆さんは自分で価格を決めることは出来ません。

**Q** 沼沢  
農業者は資材価格の高騰を価格転嫁することが出来ず、このままでは生産量を抑制するという事に繋がりがねない。特に高騰している肥料代等に対する支援策を早急に検討し、本市の農業を守るべきだ。

**A** 市長  
国において肥料価格の高騰に対する対策を検討している。本市としても、個々の農業者の経営にどのような影響があるのかを把握していきながら、安心して営農を継続できるよう、必要な対応を行ってまいりたい。

**実現!**

この質問の後、国による肥料価格高騰対策事業の補助金(上昇分の7割)に上乗せする形で、県と市によるプラス補助(3割補助)が決定しました。昨年の秋肥分に続き、今年の春肥分についても継続する予定です。これで全てが解決するわけではもちろんありませんが、それでも大きな一歩です。

その他質疑項目 ◎青葉通仙台駅前の社会実験について 等





▲ 郡山中学校にある郡山遺跡の遺構表示

## 1. 教育費 郡山遺跡の歴史公園整備について

郡山遺跡は多賀城以前の陸奥国の国府(県庁のようなもの)と考えられていて、平成18年には国の史跡として指定されている東北の古代史にとって極めて重要な遺跡です。将来的には歴史公園として整備することとされていますが、東日本大震災等の影響により、その計画が遅れていました。

Q

沼沢

新年度に保存活用計画策定に向けた議論が進むとの事に期待する。八本松郡山地域研究会を始めとする地域の方々と連携しながら、最終的な歴史公園としての整備に向け着実な取り組みを求める。

A

文化財課長

さらなる発掘調査による遺跡解明のための詳しいデータを集積する必要があると認識しているが、まずは今回の保存活用計画策定において、遺跡の意義や価値、今後の方針等を取りまとめ、市民の皆様や来訪者にとって憩い歴史公園となるよう、次のステップに繋げてまいりたい。

その他質疑項目 ◎スタートアップ企業支援について 等

## 陳情：東長町児童館サテライト入口の雨水対策が完了

東長町児童館のプレハブサテライト室敷地入口の水はけが悪く、雨が降ると子ども達も保護者の方々も大変なので何とかしてほしい、と地元の方々からご要望を頂きました。雨の日に状況を確認したところ、大きな水たまりが出来ていて、そこにすのこを渡して歩かなければいけないなど、想像以上にひどい状況でした。当局にも現場の状況を確認してもらい、令和4年秋にアスファルトを改修してもらうことで改善につなげました。



▲ 改修前



▲ 改修後

## トピックス：郡山北目地区の市街化区域編入方針を承認

本年2月6日の仙台市都市計画審議会において、郡山北目地区(46.3ha)における市街化調整区域から市街化区域への将来的な編入方針が承認され、2月15日に宮城県へ申し入れがなされました。昨年より地元の方々と話し合いを続けてきましたが、今後は「物流の拠点」としての整備に向けて動き出すことになります。



▲ 郡山北目地区



▲ 土地利用計画

## 仙台市議会健康福祉常任委員会の委員長に就任しました

令和4年9月より、医療や介護、障害福祉、子育て支援などの分野を所管する健康福祉委員会の委員長に就任しました。コロナ禍における保健所の対応や4病院統合問題など、市民生活にとって喫緊の課題が山積する中、必要な施策や提言を取りまとめて参ります。



▲ 健康福祉委員会委員長として

## 令和5年度仙台市予算要望を提出

会派「市民フォーラム仙台」の政調会長として予算要望を取りまとめ、①子どもの命を守る教育と次世代支援 ②地域経済の活性化と雇用の確保 ③市民福祉の充実 ④安全・安心なまちづくりと都市インフラの最適化 ⑤防災・減災および環境に配慮したまちづくり ⑥行財政改革と持続可能なまちづくりの6本を柱とする105項目の要望書を市長に提出しました。またあわせて太白区長にも、郡山ポンプ場の早期再構築や郡山折立線(郡山工区)及び国道286号バイパス事業(南赤石工区)の整備促進など、太白区にかかる予算要望も提出しました。



▲ 令和5年度予算要望

## 仙台市議会議員(太白区) 沼沢しんや

皆さんの声お聞かせください!!

役職

・健康福祉常任委員会委員長 ・スポーツ市議の会幹事  
・文化芸術・スポーツ振興調査 ・市民フォーラム仙台政調会長  
特別委員会委員

プロフィール

昭和56年2月24日生まれ。東北学院大学経済学部卒。  
2015年仙台市議会議員選挙初当選。現在二期目。

MAIL. shinya@numachan.jp

仙台市議会HP

沼沢しんやHP

TEL. 022-304-2066

FAX. 022-304-2067

〒982-0006

仙台市太白区東郡山2-1-2

